

『災害看護研修』 研修会実施報告

日時 : 令和3年2月2日(火) 13:00~15:50

対象者 : 全体研修

参加者数 : 21名

目的 : 災害時の初期対応能力の向上が図れる

<講師の紹介>

災害看護委員会

F 師長

M 師長



<内容>

災害看護についての講義では災害サイクルの内容の説明がありました。静穏期・準備期では災害が発生するまでに行う教育や訓練、超急性期は発災から72時間で「まず命を救う」こと、急性期は災害から1週間で被災者や派遣ナースへの心の配慮、亜急性期では避難所生活や被災者の健康状態の評価、心のケア、復旧・復興期では他職種との連携など災害の時期に合わせた看護が必要である事を学びました。



そして減災カレンダーという訓練ツールを用いて「災害」の種類や備えの必要性、災害時に必要な情報や情報収集手段などについてグループワークを行いました。また部署での減災活動のための課題というテーマでは5Sが重要である事を再認識することができました。

整理・整頓・清掃・清潔・躰をきちんと守り療養環境の整備を行うことで大地震が発生した際の被害も低減すると思います。まず出来ることから取り組み減災活動に取り組んでいきたいと思っています。